

2010年(平成22年) 8月16日号

NO. 2446 (毎週月曜日発行)

株式会社 週刊住宅新聞社

本社 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-28-10 三層ビル
TEL. 03(3209)7621 FAX. 03(3209)7780 郵便振替口座 00120-5-83424
発行人 長尾 浩繁 昭和35年5月10日 第三種郵便物認可

1部350円(税込み) 年ごめ購読料 19800円(税・送料込み)
http://www.shukan-jutaku.com



週刊住宅

新商品新サービス

死亡事故対応の「家賃保証保険」

アンシア

少額短期保険のアンシア(東京都千代田区・本間賃貸社長)は、居室内で死亡事故が発生した際、復旧期間の約定家賃を補償する保険商品を開発した。すでに関東財務局への届出を終え、10月1日に発売する予定だ。

火災、落雷、破裂・爆発、水漏れ、水災、居室内の死亡事故など9項目によって、建物が損害を被り賃貸借契約が締結不可能となった場合を補償。事故日から復旧期間までの家賃相当分の費用を支払う。

保険契約は1棟単位が基本。契約者、被保険者は物件オーナー(サブリースは賃貸管理会社)。建物の構造区分は問わないが、住宅用物件のみが

対象。補償期間は「事故発生より、約定復旧期間月数の期間まで」で、最長6カ月間。保険金額は最大賃料の6カ月まで。

保険料は、戸室全体の家賃合計から約定家賃額を設定する。仮に1カ月家賃合計が70万円、約定復旧期間月数を6カ月と

すれば、年間保険料は8540円となる。

商品開発のきっかけは、代理店から届いた声。「入居率の低減」と「独居老人の事故や死亡」という2つの課題の解消するサービスを家主に提供したいとの問題提起に応えたこと。「貸したいけれど、貸せなかった」オーナーの悩みと、「借りたけれど、借りにく

かった」高齢入居希望者の悩みを同時に解消する新保険商品」として、全国の代理店520社、820店舗で販売する。